

仮面ライダーJ (1994)

メディア 映画
ジャンル 特撮 ヒーロー
製作国 日本
色彩 Color
時間 46分
初公開日 1994/04/16

【解説】

過去に地球上の生物を滅ぼしたフォグマザーとその一味が地球に襲来。怪物の生け贄として自然を愛する少女、加那をねらった。ネイチャーカメラマン瀬川耕司は加那を守ろうとして絶命するも、地球の奥深くで暮らす“地空人”の手により、精霊の力・Jパワーの戦士仮面ライダーJとして蘇った。

加那を救うため、フォグマザー配下のトカゲ男アギト、ハチ女ズー、コブラ男ガライと戦う仮面ライダーJ。しかし巨大なフォグマザーの前に絶体絶命かと思われたその時、Jパワーが波動。仮面ライダーJは巨大化した！！大迫力のライダーキックでついにフォグマザーを倒し、加那を救い出す。地球の平和は守られたのだ！

前年仮面ライダーZOの好評を受け製作された東映スーパーヒーローフェア・仮面ライダーシリーズ第2弾。本作品は（企画ビデオを抜きとして）ライダーシリーズ初の巨大化戦闘という新機軸に挑んでいるのが最大の特徴であろう。賛否両論はあるだろうが、映像的には非常に重厚な感じがする見応えのあるものに仕上がっていた。特に大気圏外にまで達するライダージャンプ、ライダーキックで大気圏再突入、足が燃える！というダイナミックな描写がファンに強いインパクトを与えた。

守るべき平和・自然の象徴として加那という“聖少女”（野村祐香が好演）を設定したところから、ベテラン脚本家上原正三の筆も冴え、50分足らずという短い時間を一気に見せてくれる気持ちのいい展開となっている。同時上映は『忍者戦隊カクレンジャー』『ブルースワット キック・オフ！ ニュー・ヒーロー』。

【クレジット】

監督	雨宮慶太	
アクション監督	金田治	(ジャパンアクションクラブ)
製作	村上潤 山科誠 渡邊亮徳	
企画	村上克司 吉川進	(バンダイ)
プロデューサー	久保聡 堀長文 角田朝雄	(バンダイビジュアル)
原作	石ノ森章太郎	
脚本	上原正三	
キャラクター造型	前沢範	(レインボー造型企画)
キャラクターデザイン	雨宮慶太	
撮影	松村文雄	
特撮監督	矢島信男	

	佛田洋	
クリーチャースーパーバイザー	竹谷隆之	
視覚効果	飯塚定雄	(日本エフェクトセンター)
	日本エフェクトセンター	
特殊造型	小杉和次	
美術	高橋昭彦	
編集	菅野順吉	
音響効果	森賢一	
音楽	川村栄二	
アクション	日下秀昭	
	関誉枝恵	
	鶴山知之	
	ジャパンアクションクラブ	Japan Action Club
特殊技術	國米修市	
特技・操演	鈴木昶	((株)特撮研究所)
	尾上克郎	((株)特撮研究所)
	原口ゆか	((株)特撮研究所)
特技・撮影	高橋政千	((株)特撮研究所)
	中根伸治	((株)特撮研究所)
	竹田素央	((株)特撮研究所)
特技・美術	木植健次	((株)特撮研究所)
	横井豊	((株)特撮研究所)
	寒河江弘	((株)特撮研究所)
	佐野進	((株)特撮研究所)
ビジュアルエフェクトスーパーバイザー	松本肇	
コンピューターグラフィックス	篠原保	
助監督	神園浩司	
ナレーター	飯塚昭三	
出演	望月祐多	瀬川耕司 / 仮面ライダーJ
	野村佑香	木村佳那
	神威杏次	ガライ
	栗原敏	アギト
	万里洋子	ズー
	岡元次郎	
	内田修司	
	永野百合香	
声の出演	佳山真梨穂	フォッグマザーの声
	愛河里花子	ベリーの声